

# Victory

NO.1

令和7年4月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

\*学校HP>学校図書館>#図書館の日常随時更新中

桜の花びらが舞うこの季節は、新たな1年が始まる時期でもあります。入学・進級おめでとうございます。数日前満開だった桜の木も、この陽気で葉桜へと姿を変えています。

桜といえば、先月25日（火）の朝日新聞コラム『天声人語』に、美しい桜色がどのようにして生まれるのかを、記者自身が中学時代に出会った教科書掲載の作品を出発点に話が展開されていく内容でした。読みながら驚きと新たな気づき、植物の持つ力を通して生命への畏敬の念を感じずにはいられませんでした。また、そこに紹介されている2名の作家の作品を改めて読んでみたいと思うひとときもありました。どのようにしてあの色が誕生するのかは、ぜひコラムを読んでみてください。（新聞は、図書館に常備しています。）そして、コラムの最後の言葉は静かに心に染みるものでした。ここに引用、紹介します。

▼冬の間に色を生む力を桜が蓄えるように、苦しい時に自分の中に何かを蓄える。いつか花開く時は来る。風に揺れるつぼみを見ていたら、そう信じられるような気がした。桜前線が列島を染めていく。

（朝日新聞『天声人語』一面、2025年（令和7年）3月25日火曜日）

今年度も利用者である生徒のみなさん・先生方の活発な図書館の利用をお待ちしています。利用者一人ひとりのニーズに合わせた図書館サービスを目指して、みなさんとともに成長していきたいと思っています。一年間よろしくお願ひします。



## 開館しました！



4月9日（水）、始業式と同時に図書館は開館しました。

新入生のみなさんの貸出は、4月14日（月）から実施する図書館オリエンテーションの時間からとなります。

在校生のみなさん、心機一転改めて利用規程を確認し、よりよい図書館活用をお願いします。

### ～利用規程～

◎開館時間：8:20～18:00

◎貸出冊数：5冊まで ◎貸出期間：2週間

◎サービス：予約、リクエスト、レンタル

在校生へ



春期休業中に借りた本の返却は

4月11日です。

「あ！しまった！」「まだ…」の人は早急に返却を。



\*また昨年度未返却者も速やかな返却をお願いします。



### Science Cafe 2025

昨年度、好評だった本校OBによるサイエンスカフェを今年度も実施します。3つの講座を開設して、ZOOM配信します。詳細は、配付資料および宮崎西高校生専用ポータルサイト、図書館サイネージからも見られます。

（←サイネージパネル）

参加者募集

# 棚からひとつかみ「Start!!」

新年度の幕開けと同時に早速、朝の読書も始まります。

今回は、心理学系と文学の2冊を紹介します。

『このプリン、いま食べるか？ガマンするか？一生役立つ時間の法則』NDC159.カ

柿内尚文編（飛鳥新社 2024）

本校生徒は忙しい、とにかく忙しい。なのに時間は万人共通 24 時間だ。さあ、どうする？限られた時間をどう有効に使っていくか。追われる自分ではなく、時間を御す自分でありたい。

新たに始まるこの時期におすすめの一冊。本書では、まず時間を4つに分類して考える（幸福、投資、役割、浪費）。あなたの一日の中でそれぞれの配分比率はどうだろう？そこから時間との向き合い方に変化が現れたらしめたもの。



## 扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

～本校図書館 STEAM LIBRARY の館内紹介～

管理棟 3 階西側一角に位置しています。生徒のみなさんからは「教室から遠い」という声を毎年耳にします。物理的条件をクリアすべく、「遠くても行きたくなる」図書館をめざして、今年も図書委員とともにサービス展開していきます。

みんなの声が本校図書館の成長につながります。どうぞよろしく。

ブラウジングコーナー：

Yogibo とソファでゆったりまつたり自分時間  
(爆睡 OK)。

カウンター：

本の貸出返却、  
本はもちろん、  
調べ物の相談

開架書架（本棚のこと）：

単行本サイズ以上の本が  
NDC（分類）順に配架。  
Yogibo もあります。



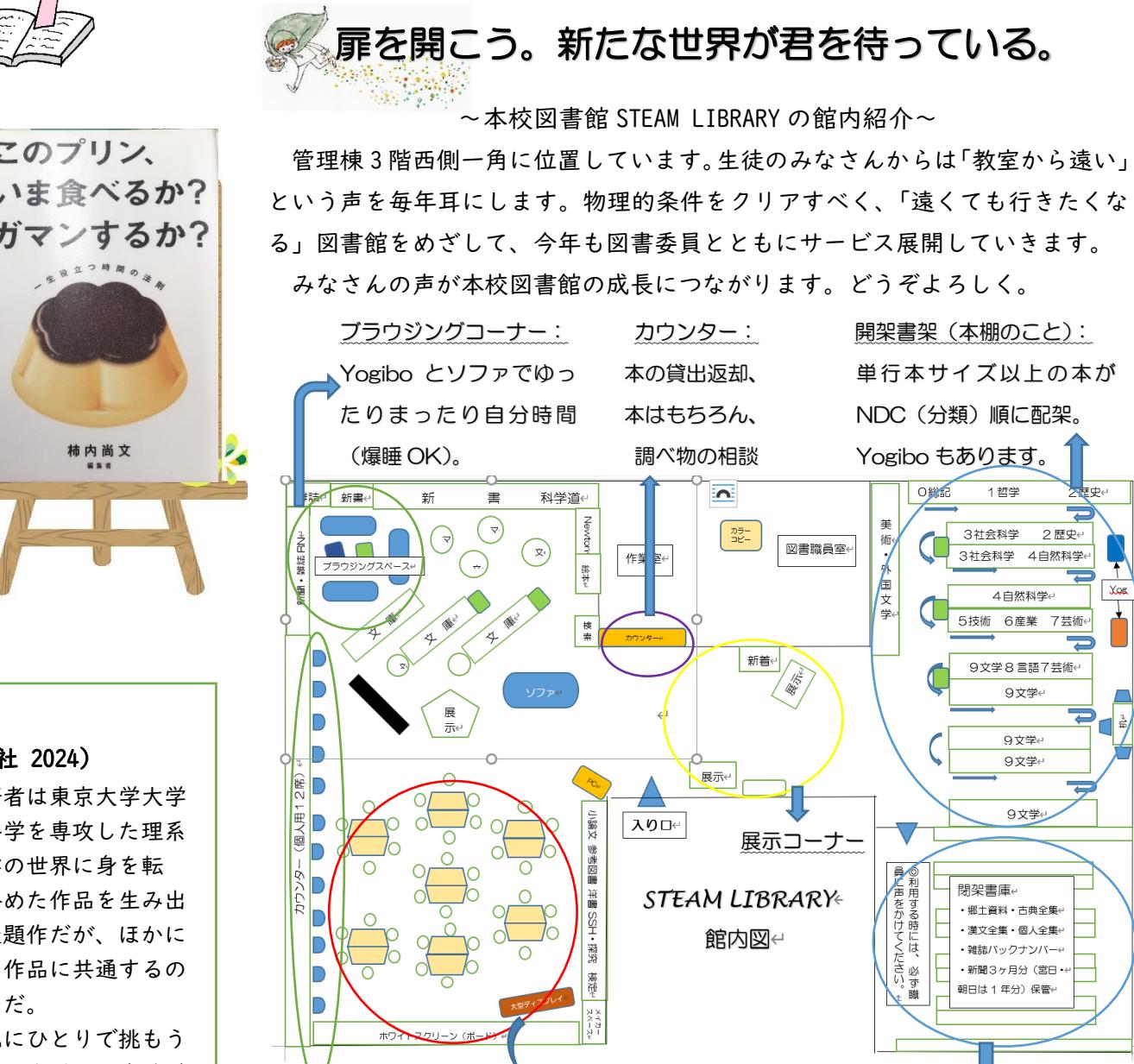
『藍を継ぐ海』NDC913.6.イ

伊与原新著（新潮社 2024）

第172回直木賞受賞作。著者は東京大学大学院理学系研究科で地球惑星科学を専攻した理系畠の人。研究畠を退き、文学の世界に身を転じ、これまで多くの科学を絡めた作品を生み出している。今回の受賞作は表題作だが、ほかに4つの短編からなる。著者の作品に共通するのは、潔いほどのすがすがしさだ。

表題作は、ウミガメの孵化にひとりで挑もうとする中学2年生の少女。彼女を通して自然科学が私たちに教えてくれるものとは…。

文学を通して科学を知る、科学を通して文学のおもしろさに気づくだろう一冊だ。



個人用カウンター：

1人で集中したいとき  
に最適。疲れたら  
空を眺めて深呼吸。

閲覧スペース：

ディスカッション、  
プレゼンなどグループで  
の活動に。東側壁面は全  
面ホワイトボード。

書庫：新聞や雑誌のバックナンバー、  
郷土資料、全集、古くなった図書が  
配架。\*入るときは、声をかけてね。